

新しいリカレントの道を探る 中高年の働き方改革に何が必要か ～人生の第二ステージに求められていることとは～

人生 100 年時代に向け中高年人材の活用がクローズアップされています。多くの企業で悩まれている中高年人材のキャリア形成支援は、50 代以上の高齢層だけでなく、40 代のミドル層にまで拡大しています。世代交代、技術継承、そして適材適所での活躍など、企業のニーズと個人の働き方にミスマッチが生じている場面すらあります。

ミスマッチ解消の方向性として、業種を超えた人材の移動や、地域を超えた人材の移動が考えられます。一方で、職種や地位により求められる人材の優秀さの定義が異なっていることも視野に入れなければいけません。

首都圏の大企業で定年を迎え、地元の中堅企業で再活躍しようとしても、求められる能力がマッチしていなければ、シニア社員として受け入れられることもありません。求職者のスキルと企業が求める人材とのマッチングは、労働市場の機能不全だけにおさまらない本質的課題となっています。

学校を卒業し、働き、やがて引退する 3 ステージのキャリアはもはや過去のものになろうとしています。キャリアを通じて学び直しながら、求められる人材への成長を実現していく、マルチステージ型のキャリア形成に向けたあたらしい日本型雇用システムを構築することが今まさに必要です。そのためにまず中高年層の意識と働き方をどのように変革するか、そして高等教育機関や企業側がどのような役割を果たすべきかをあらためて定義するためのディスカッションを進めます。

基調講演

『人生 100 年時代』の働き改革の行方

経済産業省 産業人材政策室 参事官 伊藤 禎則 氏

パネルディスカッション

人生 100 年時代

具体的に何をすればこの社会課題を解決できるのか

司 会

高度人材養成機構 理事長
(立命館大学経済学部客員教授)

三好 秀和 氏

パネリスト

経済産業省 産業人材政策室 参事官 伊藤 禎則 氏

高度人材養成機構 理事 平康 慶浩 氏
(セレクションアンドバリエーション代表取締役)

学校法人立命館 東京キャンパス所長 宮下 明大 氏

※参加者の皆さんにも意見参加をいただく予定です。キーワードは以下の通り。

リカレント、人材のマッチング、キャリア形成、マルチステージ型キャリア、ビジネススキル、企業内特殊資本リタイアメント、Uターン、地方振興など

参加費

無 料

定員

50名さま

2017 年 11 月 20 日 (月)

19:00 ~ 20:30 (18:30 受付開始)

立命館東京キャンパス (東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 8 階)

主 催

一般社団法人 高度人材養成機構

協 力

立命館東京キャンパス

対 象

民間企業の人事担当者、人材系企業の企画担当者
地方自治体の産業振興担当者など

一般社団法人 高度人材養成機構 (<https://www.koudojinzai.com/>)

一億総活躍社会において、次世代を担う経営職及び高度専門職を養成し活躍の場を提供することを目的として、2017 年 5 月に設立された。金融キャリアセンター、財務・資産運用センター、リーダーシップ開発センター、リーガルコンプライアンスセンターから構成されている。